

❖ 横浜市立大学 医学部医学科 2025 年度募集の概要 ❖

<2024/6/24 版>

このリーフレットやその他の参考データは→



国際バカロレア特別選抜・特別公募制学校推薦型選抜の募集要項は、9月上旬に公表予定です。

一般選抜の募集要項は、11月上旬に公表予定です。

募集枠	選抜区分	国際 バカロレア 特別選抜	特別公募制 学校推薦型選抜		一般選抜 (前期日程)	計
			県内高校	県外高校		
(1) 一般枠		2	—	—	58	60
(2) 地域医療枠		—	10	6	9	25
(3) 神奈川県指定診療科枠 ※臨時定員継続予定		—	3	2	3	8
	計	2	13	8	70	93

- 一般選抜と特別公募制学校推薦型選抜の志願者は、各募集枠についての志望順位・有無を、所定の組み合わせパターンから選択して出願します。
- (1)と(2)の募集枠は出身地および出身高等学校所在地による出願制限はありません。
- (3)の募集枠は、神奈川県内に1年以上の居住歴を有する者または神奈川県内の高等学校出身者のみ、志望に含める事ができます。
- (2)の入学者は、入学後6年間の医学科教育カリキュラム(3枠共通)を履修し、卒業後は2年間の初期臨床研修および、その後の7年間、神奈川県内の医療機関において勤務します。
- (3)の入学者は、入学後6年間の医学科教育カリキュラム(3枠共通)を履修し、卒業後は神奈川県内で2年間の初期臨床研修を行います。その後、本人が選択したキャリア形成プログラムに基づき、神奈川県内の医療機関において7年間の診療業務に従事します。この枠の入学者は6年間の在学中、神奈川県から修学資金(月額10万円)の貸付を受けることが条件となり、卒業後、初期臨床研修を含む9年間の県内での指定診療科※の業務に従事することにより、返還の義務が免除されます。

※産科(産科の診療を行う産婦人科を含む)、小児科、麻酔科、外科、内科、救急科、脳神経外科および総合診療科の中から、神奈川県が初期臨床研修修了までに指定する診療科。

【入試日程】 2024年10月～2025年3月

入試・選抜区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
大学入学共通テスト	9/25(水)～10/7(月)	1/18(土)・19(日)		
国際バカロレア 特別選抜	10/29(火)～31(木)	1次:書類審査 2次:12/7(土) 3次:書類審査	1次:11/19(火) 2次:12/17(火) 3次:1/24(金)	2/19(水)
特別公募制 学校推薦型選抜	11/1(金)～6(水)	1次:書類審査 2次:12/7(土) 3次:共通テスト	1次:11/19(火) 2次:12/17(火) 3次:2/12(水)	
一般選抜 (前期日程)	1/27(月)～2/5(金)	2/25(火)・26(水)	3/10(月)	3/15(土)

国際バカロレア特別選抜

□ 募集人員

学部	学科	募集枠	募集人員
医学部	医学科	一般枠	2名

□ 募集枠について

医学部医学科の入学定員93名は、一般枠60名、地域医療枠25名、神奈川県指定診療科枠8名からなり、国際バカロレア特別選抜の募集人員は一般枠の中に含まれます。

□ 日 程

出願期間【郵送必着】	第1次選考合格発表日	第2次選考日	第2次選考合格発表日
2024年 10月29日(火)～10月31日(木)	2024年 11月19日(火)	2024年 12月7日(土)	2024年 12月17日(火)
第3次選考	合格発表日	入学手続き日	
書類審査 ～2025年1月6日(月)必着	2025年 1月24日(金)	2025年 2月19日(水)	

□ 試 験 場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

□ 出願資格・要件

出願時には次の①～③のいずれにも該当する者

- ① 国際バカロレア機構から、2023年4月1日から2025年3月31日までに国際バカロレア資格(International Baccalaureate Diploma)を授与された者もしくは授与される見込みの者
- ② 国際バカロレア資格において、次の(1)～(3)のいずれにも該当する(見込)の者
 - (1) 言語Aを日本語(HL・SLのいずれでも可)により履修し成績評価4以上、または言語Bを日本語(HL)により履修し成績評価6以上。ただし言語A・言語Bいずれにおいても日本語を履修していない場合は、日本語能力試験N1または日本語検定3級以上の資格を有する者。
 - (2) 物理、化学、生物から2科目および数学の3科目を履修し、うち1科目はHL成績評価5以上、他の2科目はSL成績評価6以上又はHL成績評価5以上
 - (3) 全体の成績評価が4.0以上
- ③ 下記に定める資格のいずれかのスコアを有し、公式な成績証明書を提出できる者
<2022年4月以降に受検した英語資格に限ります。>
TOEFL iBT 80以上、またはIELTS(Academic Module)6.0以上

また第3次選考に進む段階では、②の成績を満たしているとともに、次の④にも該当する者

- ④ 本学を第1志望とし、合格した場合は入学することを確約できる者

□ 選考方法・合否判定基準

区 分	配 点 等
第1次選考	出願者数が概ね6名を超えた場合のみ、国際バカロレア資格の全体成績評価を1,000倍した数値(40,000～45,000)とTOEFLスコア※(80～120)の合計点(40,080～45,120)により、第1次選考を行います。 ※IELTSについては、6.0→80、6.5→90、7.0→100、7.5→106、8.0→112、8.5→116、9.0→120、とTOEFLスコアに換算します。
第2次選考	MMI(Multiple Mini Interview)※の手法を取り入れた面接審査により、多面的に資質を評価します。(配点1,000点) 第2次選考の受験者は第3次選考に進むことを基本としますが、評価が一定水準以下の場合は、不合格となることがあります。 ※Multiple Mini Interview: 1回の面接ではなく、受験者が評価項目別の面接室を巡り、各々独立した短めの面接を複数回行って多面的に評価する面接手法。この入試では、各受験者に対して5つ程度の面接室を設けます。
第3次選考	合格した場合の入学意志の有無と国際バカロレア資格(見込で出願した者)の最終評価を確認し、要件を満たした者について、国際バカロレア資格の全体成績評価を22倍した数値(990点満点)と面接審査の評価点(1000点満点)の合計点(1990点満点)により、最終合格者を決定します。ただし応募・選考状況によっては、合格者発表数が募集人員に満たない場合があります。

特別公募制学校推薦型選抜

□ 募集人員

学部	学科	選抜区分	募集人員(募集枠内訳)
医学部	医学科	県内高校	13名(地域医療枠10・神奈川県指定診療科枠3※)<予定>
		県外高校	8名(地域医療枠6・神奈川県指定診療科枠2※)<予定>

※神奈川県指定診療科枠の継続については、今後、文部科学省の認可を受ける必要があるため、詳細については、9月上旬に公表する「特別公募制学校推薦型選抜 学生募集要項」で確認してください。

[募集枠の選択について]

以下の2つのいずれかを選択します。

【選択1】神奈川県指定診療科枠を第1志望とし、地域医療枠を第2志望とする。

【選択2】神奈川県指定診療科枠を志望せず、地域医療枠のみを志望する。

ただし【選択1】を選ぶことができる者は、県内高校区分の者、または県外高校区分で神奈川県内に1年以上の居住歴のある者に限定されます。

※受験者は選抜区分(県内高校・県外高校)ごとに評価され順位づけられます。

第1次選考と第2次選考では、【選択1・2】の別に関わらず合格が決まります。

第3次(最終)選考では、順位が上位の者から【選択1・2】の別に応じて合格者を決定します。

例) 県外高校区分で【選択1】の者が1~2位になった場合は、神奈川県指定診療科枠での合格となります。

3~8位の場合は、上位者の選択により神奈川県指定診療科枠または地域医療枠での合格となります。9位

以下の場合には不合格の可能性が高いものの、上位者の選択状況(1~8位に【選択1】の者が1名しかいない場合など)によっては神奈川県指定診療科枠で合格する可能性もあります。

□ 地域医療枠・神奈川県指定診療科枠について

医学部医学科の入学定員93名は、一般枠60名、地域医療枠25名、神奈川県指定診療科枠3名の募集枠からなり、特別公募制学校推薦型選抜の募集人員は地域医療枠および指定診療科枠の中に含まれます。

各募集枠の入学後から卒業後研修プログラムの詳細については、一般選抜での記載を参照してください。

□ 日

出願期間【郵送必着】	第1次選考合格発表日	第2次選考日	第2次選考合格発表日
2024年 11月1日(金) ~ 11月6日(水)	2024年 11月19日(火)	2024年 12月7日(土)	2024年 12月17日(火)
第3次選考	合格発表日	入学手続日	
大学入学共通テスト	2025年 2月12日(水)	2025年 2月19日(水)	

□ 試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

□ 求める学生像

人間性豊かで、基礎・臨床・社会医学への熱意やリサーチマインドを持ち、医療や研究に従事する者として、生涯にわたる向上心を備え、神奈川県の医学・医療の発展に貢献するとともに、グローバルな視野からリーダーシップを発揮する意欲のある者

□ 出願資格・要件

次に掲げる基準をいずれも満たす者で、学校長が推薦する者

(1校につき、【選択1】の者1名、【選択2】の者1名の計2名まで推薦可)

- <県内高校区分> 神奈川県内の高等学校(中等教育学校含む)、
<県外高校区分> 神奈川県外の高等学校(中等教育学校・文部科学大臣認定在外教育施設含む)を、
2025(令和7)年3月卒業見込みの者(標準的な卒業期日が3月でない学校の場合は、その直前の期日に卒業の者)
- 本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学することを確約できる者
- 全体の評定平均値が4.3以上の者
- 数学Ⅲに加え、「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」のうち2つの科目群を修得または修得見込みの者
- 下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者
<2022年4月以降に受検した英語資格に限ります。TOEFL-ITP、TOEIC-IPは認められません>
TOEFL- iBT 61以上、TOEIC(L&R)600以上、英検準1級以上、GTEC(検定版・CBT)1140以上、
またはIELTS(Academic Module)5.0以上

一般選抜 前期日程

募集人員

学部	学科	募集枠	募集人員
医学部	医学科	(1)一般枠	58名
		(2)地域医療枠	9名
		(3)神奈川県指定診療科枠<予定>	3名<予定>
			70名<予定>

※ (1)と(2)の募集枠は、出身地および出身高等学校所在地による出願制限はありません。

※ (3)の募集枠を志望に含めることができるのは、神奈川県内の高等学校（中等教育学校を含む）出身者または神奈川県内に1年以上居住したことがある方に限られます。

※ (3)の募集枠の継続については、今後、文部科学省の認可を受ける必要があるため、詳細については、11月下旬に公表する「2025年度学生募集要項」で確認してください。

大学入学共通テストの指定教科・科目等

教科	科目	教科科目数
国語	『国語』（古文・漢文含む）（必須）	1
地歴 公民 ※1, ※2, ※3	『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』 『地理総合, 地理探究』『地理総合/歴史総合/公共』 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』から1科目	1
数学	『数学Ⅰ, 数学A』（必須） 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』（必須）	2
理科	『物理』『化学』『生物』から2科目	2
情報	『情報Ⅰ』（必須）	1
外国語	『英語』（リスニングを含む）（必須）	1

(注) 『英語』でリスニングを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

※1 『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、出題範囲のうちいずれか2つを選択解答してください。

※2 地歴・公民で2科目を選択する場合は以下の①、②に注意して選択してください。

① 『公共, 倫理』と『公共, 政治・経済』の組合せを選択することはできません。

② 『地理総合/歴史総合/公共』を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※3 地歴・公民で2科目受験した場合は第1解答科目の成績を採用します。

個別学力検査(第2次試験)の出題科目等

教科等	時間	科目・内容等
数学	120分	『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C』（必須）
理科	180分	『物理基礎・物理』、『化学基礎・化学』、『生物基礎・生物』から2科目選択
外国語	90分	『英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ』（必須）
小論文	60分	与えられたテーマについて、1,000字程度で論述する。論理的思考力、記述力などを評価します。(必須)
面接	—	医学を志す動機、医学・医療に対する適性、意欲、社会的適応力などを総合的に評価します。(必須)

(注) 特別公募制学校推薦型選抜または国際バカロレア特別選抜(医学科)の第2次選考(面接)に合格している者は、一般選抜の個別学力検査(第2次試験)における面接を免除します。

◆ 必須科目および選択科目のすべてを受験していない場合は、審査の対象になりません。

◆ 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲの出題範囲は全範囲です。

◆ 数学Aの出題範囲は図形の性質、場合の数と確率です。

◆ 数学Bの出題範囲は数列です。

◆ 数学Cの出題範囲はベクトル、平面上の曲線と複素数平面です。

◆ 『物理基礎・物理』、『化学基礎・化学』、『生物基礎・生物』の出題範囲は全範囲です。

◆ 面接においては、調査書・志願理由書を参考資料として使用します。

配点・審査基準および合否判定基準

* 『小論文』『面接』は数段階で評価します。

試験区分	国語	地歴・公民	数学	理科	情報	外国語	小論文	面接	合計点
大学入学 共通テスト	200	50	200 [100×2科目]	200 [100×2科目]	50	300	—	—	1,000
個別学力検査 (第2次試験)	—	—	400	600 [300×2科目]	—	400	*	*	1,400
合計	200	50	600	800	50	700	*	*	2,400

(注) 大学入学共通テスト配点換算方法

地歴・公民 : 100点満点→50点

情報 : 100点満点→50点

外国語(英語) : リーディング(100点満点→240点) + リスニング(100点満点→60点) = 300点

第1段階選抜

○以下に定める大学入学共通テストの成績および志願倍率により、第1段階選抜を行います。

大学入学共通テストの配点の合計点	倍率(人数)
原則として 750点以上	約3倍(210人程度)

※大学入学共通テストで必要な教科科目を受験していなかった場合は、当然に不合格となります。

※750点以上の志願者が210人に満たない場合は、志願者全体の大学入学共通テストの得点状況等により、750点未満でも合格となる場合があります。

○合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。(募集枠の選択パターンは無関係)

最終合否判定

○大学入学共通テストの配点、個別学力検査(第2次試験)の配点の合計点および小論文と面接を数段階で評価し、審査基準とします。小論文の評価または面接の評価が一定の水準以下の場合には合格しない場合があります。

○合否判定は、合計得点の高い者から順に、第1志望枠から優先して合格とします(募集枠については、「募集枠について」をご覧ください)。第2志望枠または第3志望枠まで志望した受験者は、第1志望枠で合格とならなかった場合、第2志望枠または第3志望枠での合格の可能性がありますが、どの募集枠で合格となったかについては、合格発表時に郵送する合格通知書に記載します。

募集枠について《(1)一般枠 / (2)地域医療枠 / (3)神奈川県指定診療科枠》

医学部医学科には、(1)～(3)の3種類の募集枠があります。出願に際しては、各募集枠に対する志望の有無と順位について、以下の5つのパターンから選択します。なお入学後6年間の医学科教育カリキュラムは同一です。

	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5
(1) 一般枠	第3志望	第2志望	第2志望	第1志望	第1志望
(2) 地域医療枠	第2志望	第3志望	第1志望	第2志望	志望なし
(3) 神奈川県指定診療科枠	第1志望	第1志望	志望なし	志望なし	志望なし

(2)と(3)は、地域医療機関における医師確保の安定化に寄与するために設けられています。(2)の地域医療枠は、神奈川県内の地域医療に従事する医師を、(3)の神奈川県指定診療科枠は、神奈川県内で特に不足している8診療科(産科・小児科・麻酔科・外科、内科・救急科・脳神経外科・総合診療科)に従事する医師をそれぞれ養成します。(2)(3)の募集枠を志望に含む場合は、本人による「誓約書」、「同意書」および出身高等学校からの「推薦書」(注)の提出が必要となります。また(3)神奈川県指定診療科枠を志望に含めることができるのは、神奈川県内の高等学校出身者または神奈川県内に1年以上居住したことがある方に限られます。

(注)出身高校からの推薦書が得難い者(高等学校卒業程度認定試験合格者や出身高校が廃校になった者等)については、事前(出願する前)に大学に申し出てください。

(1) 一般枠 (募集人員58名：出身高校所在地や県内居住歴の制約なし)

従来の前期日程として募集してきた枠で、入学後6年間の医学科教育カリキュラムを履修します。

▼在学中から卒業後研修プログラムのモデルケース／流れ(一般枠)

6年間	2年間	3年間程度	数年間
医学科教育	初期臨床研修	専門医研修	専門性のより高い分野の研修

(2) 地域医療枠 (募集人員9名：出身高校所在地や県内居住歴の制約なし)

入学後、6年間の医学科教育カリキュラム(一般枠・神奈川県指定診療科枠と共通)を履修し、卒業後は2年間の初期臨床研修および、その後7年間、神奈川県内の医療機関において勤務します。

この枠の志願者には、出願時に出身高等学校からの「推薦書」(高認試験合格や廃校等の場合は応相談)および地域医療枠用「誓約書」「同意書」を提出する必要があります。

▼在学中から卒業後研修プログラムのモデルケース／流れ(地域医療枠)

卒業後は神奈川県が作成し、本人が選択するキャリア形成プログラム★に沿って従事します。

6年間	2年間	7年間
医学科教育	県内の基幹型臨床研修病院が作成するプログラムに基づく初期臨床研修	7年間、選択したキャリア形成プログラムに沿い、本学附属病院をはじめ、神奈川県内の医療機関において診療業務(地域医療を実践する)に従事 ※1 県内の医療機関において専門医研修を行うことも可能 ※2 留学や大学院進学等の一時中断についても神奈川県と協議可能

(3) **神奈川県指定診療科枠** (募集人員3名(予定)：神奈川県内高校出身または1年以上の居住歴が必要)

※この募集枠の継続については、今後、文部科学省の認可を受ける必要があるため、確定した内容については、各選抜方式の「学生募集要項」で確認してください。

＜参考＞昨年度の学生募集要項での記載

将来、産科（産科の診療を行う産婦人科を含む）、小児科、麻酔科、外科^{*}、内科、救急科、脳神経外科および総合診療科のうち、神奈川県が初期臨床研修修了までに指定する診療科の医療に、初期臨床研修修了後従事することを目的とした募集枠です。この枠では学部1年次～6年次の6年間、神奈川県から修学資金の貸付を受けることが条件となります（貸付金額等については別紙「神奈川県地域医療医師修学資金貸付制度について」を参照してください）。借り受けた修学資金については、本学を卒業し、初期臨床研修を含む9年間（本学在学期間である6年間の1.5倍の期間）を本人が選択したキャリア形成プログラムに沿って神奈川県内の病院において、神奈川県知事が指定する診療科の業務に従事することで返還の義務は免除されます。

入学後、6年間の医学科教育カリキュラム（一般枠・地域医療枠と共通）を履修し、卒業後は、神奈川県内で2年間の初期臨床研修を行います。その後、本人が選択したキャリア形成プログラムに基づき、神奈川県内の医療機関において7年間の診療業務に従事します。

在学中には、県内地域枠医師や自治医科大学派遣医師とのイベント実施による医学生の交流会等へ参加することができ、卒業後も神奈川県（地域医療支援センター）が行うキャリア支援サポートを受けることができます。

なお、初期臨床研修及び初期臨床研修修了後に勤務する医療機関は、本人が選択したキャリア形成プログラムに沿って知事の指定する医療機関の中から選定します。この知事の指定する医療機関は、医師が不足している地域における中核的、かつ、勤務体制の整っている医療機関を想定しており、指定診療科の指導の下で勤務していただきます（県立病院に限るものではありません）。また、9年間同一の指定医療機関に勤務するとは限らず、県内医療の状況を見ながら、いくつかの医療機関に勤務していただく場合もあります。

（※外科とは、日本専門医機構の外科の基本領域とし、具体には外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、消化器外科、小児外科、内分泌・甲状腺外科がこれにあたります。）

▼**在学中から卒業後研修プログラムのモデルケース／流れ（神奈川県指定診療科枠）**

卒業後は神奈川県が作成し、本人が選択するキャリア形成プログラム★に沿って従事します。

6年間	2年間	7年間
医学科教育 ※神奈川県より修学資金を貸与	県内の基幹型臨床研修病院が作成するプログラムに基づく初期臨床研修	7年間、選択したキャリア形成プログラムに沿い、本学附属病院をはじめ、神奈川県内の医療機関において指定した診療科で診療に携わった場合（地域医療を実践している場合）、修学資金の返還義務は免除 ※1 産科、小児科、麻酔科、外科、内科、救急科、脳神経外科、および総合診療科の中から選択 ※2 県内の医療機関において専門医研修を行うことも可能 ※3 留学や大学院進学等の一時中断についても神奈川県と協議可能

★キャリア形成プログラムとは、義務年限中におけるキャリア形成について、就業先となる医療機関をコース（診療科）別に示したものです。詳細は神奈川県ホームページをご参照ください。 <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t3u/cnt/f535143/kyariaikeisei.html>

《**神奈川県指定診療科枠に関する補足事項**》

- 次のような場合には、修学資金の貸付を停止します。
 - ・大学を退学、または退学させられたとき
 - ・修学生であることを辞退したとき
 - ・心身の故障のため、大学を卒業する見込みがなくなると認められるとき
 - ・学業成績や品行が著しく不良となったと認められるとき
 - ・虚偽その他不正な方法により修学資金の貸付けを受けたことが明らかとなったとき。
 - ・第6学年時にキャリア形成プログラムを選択しなかったとき。
 （キャリア形成プログラムの選択に関しては、初期臨床研修修了前に変更することが可能です）
 - ・その他修学資金の貸付の目的を達成する見込みがなくなると認められるとき。
- 修学資金返還免除のために必要な勤務期間9年間のうち、妊娠・出産・育児、その他、県がやむを得ないと認める事由により医療業務に従事できない期間は、この9年間には含まれません。
- 初期臨床研修修了後、県内の医療機関において専門医研修等を行いながら大学院教育を受けることも可能です。

2024年度 横浜市立大学 医学部医学科 入試結果

人数	選抜区分	国際 バカロレア	特別推薦		一般選抜 (前期日程)	計
			県内	県外		
	募集	2	13	8	70	93
	内 一般枠	2	—	—	58	60
	内 地域医療枠	—	10	6	9	25
	内 神奈川県指定診療枠	—	3	2	3	8
	志願	5	33	28	250	316
	1次合格	5	21	16	210	252
	受験	4	21	16	198	239
	IB・推薦 2次合格	4	21	16		
	合格	1	10	5	82	98
	内 一般枠	1	—	—	63	64
	内 地域医療枠	—	7	4	15	26
	内 神奈川県指定診療枠	—	3	1	4	8
	入学	1	10	5	77	93
	内 一般枠	1	—	—	59	60
	内 地域医療枠	—	7	4	14	25
	内 神奈川県指定診療枠	—	3	1	4	8

※一般選抜の合格者には追加合格者4名(一般枠3、地域医療枠1)を含みます。

一般選抜 合格者 平均点・最低点

配点			第1段階選抜合格者 (共通テスト得点)		最終合格者		
1次	2次	合計	平均点	最低点	平均点		最低点
1,000	1,400	2,400	845.90	772.60	1次	2次	合計
					870.04	1,026.17	1,793.20

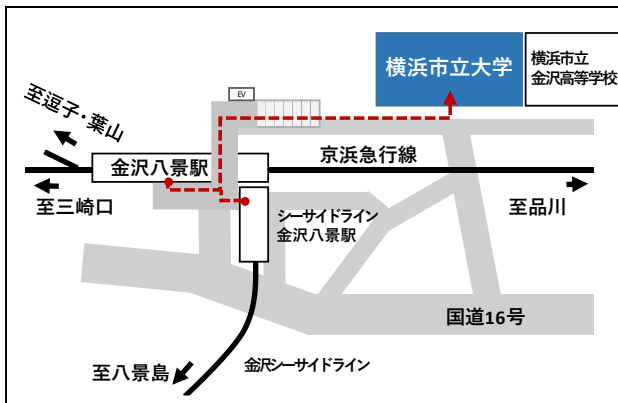
◆この表には、追加合格者および追試験等による合格者の点数は含まれません。

◆面接・小論文の評価(段階評価で合計点に含まない)が一定の水準以下の場合には合計点にかかわらず不合格となる事があります。



【問い合わせ先】 アドミッションズセンター 045-787-2055

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/admissions>



横浜市立大学 交通案内 (金沢八景キャンパス)

京浜急行線・金沢シーサイドライン
「金沢八景駅」下車 徒歩5分

●京浜急行線主要駅から「金沢八景駅」まで；

*「横浜駅」から快特/特急で約20分

*「品川駅」から快特/特急で約40分

*「羽田空港駅」から急行・快特/特急で約45分

●JR新杉田駅から金沢シーサイドライン乗車で約25分